

2025年度春季研究発表大会

3月13日(木)・3月14日(金)

東洋大学 白山キャンパス

発表申込締切：1月27日

■大会概要(対面形式)

日程 3月13日(木)～3月14日(金)

会場 東洋大学 白山キャンパス

東京都文京区白山5-28-20

<https://www.toyo.ac.jp/about/introducing/access/>



IPMA
JAPAN

international
project
management
association

最寄駅：白山駅（都営地下鉄三田線）徒歩5分／千石駅（都営地下鉄三田線）徒歩8分／本駒込駅（東京メトロ南北線）徒歩5分／千駄木駅（東京メトロ千代田線）徒歩15分

■参加費

	正会員		学生会員		非会員	
	早割	通常	発表者	非発表者	早割	通常
研究発表大会(3/13-14)	15,000円	17,000円	無料*1	5,000円	20,000円	25,000円

- ・大会参加は、下記の大会公式ウェブサイトよりお申込ください。
- ・法人会員は一口あたり3名まで正会員料金で参加可能です。
- ・**2月7日までお支払いの場合には早割り価格**で参加いただけます。支払は、クレジットカード払い(VISA, MasterCard, JCB)、請求書払いのいずれかの方法となります。お支払後の返金はできませんのでご了承ください。
- ・当日欠席される場合でも参加費はお支払いいただきます。また出席者の交代は一切ご遠慮ください。
- *1「学生会員」かつ「発表者(第一著者)」に限ります。

■キーノート



「同時通訳の自動化～けいはんなで誕生し、EXPO 2025 大阪・関西万博で花開く～」

隅田 英一郎氏
情報通信研究機構 フェロー



「2030年に到来するデータ駆動社会に向けた戦略的な取り組み」

平本 健二氏
独立行政法人情報処理推進機構(IPA)
デジタル基盤センター長



「企業変革を実現するためのデータ戦略と実践
—データからインテリジェンスへ—」

浦本 直彦氏
花王株式会社
執行役員 DX戦略部門 データインテリジェンスセンター長

大会公式ウェブサイト <https://www.spm.or.jp/committee/2025spring/>

問合せ先 一般社団法人プロジェクトマネジメント学会 行事委員会 e-mail spm_conf@spm.or.jp

2025年度春季研究発表大会 キーノート概要と論文募集要項

■キーノート1 3月13日 10:00-11:00

※時間は変更になることがあります

「同時通訳の自動化～けいはんなで誕生し、EXPO 2025 大阪・関西万博で花開く～」

情報通信研究機構 フェロー 隅田 英一郎氏

同時通訳の自動化技術の進展とその実用化をテーマに、関西の「けいはんな学研都市」で誕生したこの革新的な技術が、どのように開発され、EXPO 2025 大阪・関西万博でどのように活用されるかについて説明します。まず、同時通訳の自動化の基本技術の研究開発の歴史をたどり、次に動画を交えて技術の到達点を体感していただきます。最後に、EXPO 2025 大阪・関西万博での実際の応用事例を解説し、未来の国際交流やビジネスにおける可能性を示します。この講演を通じて、同時通訳の自動化技術の現状と未来像を理解し、プロジェクトマネジメントにおける新たな視点を得ていただけるようお伝えします。



■キーノート2 3月14日 10:00-11:00

「2030年に到来するデータ駆動社会に向けた戦略的な取り組み」 独立行政法人情報処理推進機構(IPA) デジタル基盤センター長 平本 健二氏

企業経営や個人活動等、社会全体がデータを基に動いており、AIの普及により、ますますデータの重要性が高まっています。一方、データの整備が十分ではない、どのような整備をしていけばよいかわからない、という声をききます。データ駆動社会の実現に、データ自体の整備はもちろんのこと、データを活用や交換するプラットフォーム、そのためのソフトウェア、データに関するルールなど様々な要素があります。世界中の国がデータ駆動社会に向かう中、国内外でどのような潮流があるのか、今後何をしなければならないのか、動向を整理して解説します。



■キーノート3 3月14日 13:20-14:20

「企業変革を実現するためのデータ戦略と実践 —データからインテリジェンスへ—」 花王株式会社 執行役員 DX戦略部門 データインテリジェンスセンター長 浦本 直彦氏

人工知能やデータ分析技術の進展は、企業におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)の取組に大きな影響を与えています。しかし、これを本質的な事業変革や価値創造へと繋げるのはいまだ難しい課題です。本講演では、花王におけるDX戦略の概要を示すとともに、技術と企業変革の間に横たわる溝を埋め、人間の意思決定と行動を加速するためのデータインテリジェンス活用について紹介します。



■論文募集要項

発表者(第一著者)は正会員または学生会員であることが必要です。詳細は、大会公式ウェブサイトをご確認ください。

入会申し込み	https://spm.or.jp/admission/guide/
大会公式ウェブサイト	https://www.spm.or.jp/committee/2025spring/
応募方法	大会ウェブサイトからお申し込みください(2025年1月27日まで)

- ・全ての発表者の方は、A区分又はB区分から1つを選択してください。
A区分 … 発表のみ(原稿:2~15ページ)
B区分 … 学会誌への投稿を兼ねる発表(原稿:6~15ページ*)
*掲載時に執筆要領に従った2段組みに編集して頂きます。この際に、10ページを超える論文には超過掲載が請求される場合があります。
- ・学生が第一著者の場合(共著者は2名まで)、学生発表賞に応募するか否かを選択してください。
学生発表賞応募者は、ネットワーキング内で行われる表彰式(3月13日)に参加する必要があります。
- ・B区分で発表申込をすると、投稿された論文は、そのまま論文審査委員会による査読付き論文として審査に回されます(再提出の機会はありません)。審査完了前に同じ内容の論文を他学会に投稿したり、他所で発表すると「二重投稿」と呼ばれる重大な違反行為になりますので注意してください。

■論文提出

論文投稿システムによる提出。**フルペーパー2月14日締め切り**(以降は編集不可)